# 6．高病原性鳥インフルエンザ防疫体制強化に向けた取り組み

宮城県東部家畜保健衛生所
○上村　健人、清水ゆう子

## 1．はじめに

これまで当所は、登米地域及び気仙沼地域の２地方公所と共に、防疫マニュアルの制定、防疫研修会の開催等を継続して取り組んできたが、平成26年度から実用性のある防疫体制の構築を目的として、関係部署等と連携し、防疫措置に係る各種候補地の選定・リスト化及び現地確認、防疫研修会の開催の２点について重点的に取り組んだので、その概要を報告する。

## 2．防疫措置に係る各種候補地の選定・リスト化及び現地確認

現地仮設テント及び埋却候補地は、当所による農場巡回指導の際、飼養衛生管理基準に係る定期報告に基づき聞取りした基本情報等を取りまとめ、農家別の農場台帳に追加した。また、発生時の防疫計画立案のため地図ソフトを活用し、管理区域、現地仮設テント、埋却地、防疫従事者の動線及び殺処分鶏の動線等を記載した防疫作業図を作成し、必要な情報をわかりやすく示した。消毒ポイントは、チェーン脱着場、公共施設等をリスト化し、現地の住所、図面及び写真を整理し消毒ポイント台帳として整備した。

## 3．防疫研修会の開催

平成26年までの防疫研修会は、組織体制等の説明及び防護服の着脱実演を主内容として毎年開催してきた。平成27年度登米地域防疫研修会では、生鶏を用いた防疫作業従事者の殺処分及び防護服着脱の手順を実地演習した。気仙沼地域防疫研修会では、現地地方支部運用マニュアルに従ってその概要を説明したが、詳細な作業内容が不明であるとの意見が寄せられた。そこで、当所は、地方振興部と共同で各部の担当者を交えた意見交換会を開催し、個別に疑問点や問題点を協議した。

## 4．今後の取組み

防疫措置に係る各種候補地については、今後も確認を継続的に進めていく予定である。また、今回作成した防疫作業図については、農場の理解を得ながら農場単位での実証検分を推進していきたい。

防疫研修会の実地演習は、職務分担毎に企画し、担当部の作業内容を明確化すると共に、職員の意識付けを継続的に進める予定である。意見交換会は、今後も定期的に開催し、マニュアルの理解を深めてもらうと共に手順書等に反映させていきたい。